

世界で活躍する 「とちぎびと」の ご紹介

世界で活躍する「とちぎびと」の皆さまを紹介させていただくこのコーナー。今回は、ベトナム・ホーチミン市に所在する「ホーチミン栃木県人会」の稲葉健人様に、同県人会の活動について執筆いただきました。稲葉様、ありがとうございました。ホーチミン栃木県人会の皆さまのますますの御活躍を期待しています。※掲載を希望される皆さまからの御連絡をお待ちしています！

ホーチミン栃木県人会

事務局 稲葉健人

ベトナム最大の商業都市のホーチミン市。タンソンニャット国際空港に到着し、タラップを降りるとカラッとした暑さのお出迎えと鼻の奥底を突き抜けるアジアの成長の匂いを感じる。さて、“栃木県とベトナム“の関係を見てみると、ハノイ市やダナン市が強いイメージで刷り込まれている栃木県民も多いのでは無いだろうか。実は、ベトナム全国から働きに出る「人」、多くの先端な「もの」、アジア金融の中心シンガポールと連携したブロックチェーン開発など「情報」も集まっているのがホーチミン市です。



▲ホーチミン市の様子

ホーチミン栃木県人会は、最近の在外県人会と同じく駐在員や短期出張者などビジネスを理由にしている会員が多く、ホーチミン市自体のビジネススピードが早いいためか、日本本社から若手が送り込まれることが多く、会員に若手が多いのも当会の特徴です。

そんな、経済成長真っ只中で、五輪戦士のように活躍しています。例え話があります。

日本人は「ボクシング」をしている。階級やルールが決まった枠の中では最強なのである。

しかし、アジアでのビジネスは「プロレス」なのかもしれません。もしかしたら相手は審判を買収しているかもしれないし、反則技だって使ってもいい。最後に残った強いものが勝者なのである。

話を置き換えれば、今までは日本国内で日本のライバルとだけ戦っていれば良かったが、アジアに出ると敵は中国や韓国など群勢をなして責め立てている。そんな状態です。2017年に5人から始まった栃木県人会も、会員数も70名、出張者も含めた述べ参加者も1000人を優に超えた。数多くの栃木県民が、あらゆる分野で日本から

は見ることのできないビジネスのリングの上で戦っています。そんな中で、栃木のインバウンド施策を見ていると、ベトナム人限定で考えれば、少し的外れさを感じてしまいます。ホーチミン栃木県人会としても、栃木の良さをもっと正確に発信していきたいです。

さて現在、コロナウィルス第4波の影響で、ホーチミン市はロックダウン中です。医療崩壊、食料品の買い出しも週2回チケット制と戦争中のような状態です。毎月開催していた懇親会も3月以来開催されておられません。また、日本へ一時帰国しベトナムに入国できない状態やベトナムから出国できない状態が続いております。早く往来ができることを祈っております。

また、Facebook ページで懇親会情報等を発信しています。次回開催は未定ですが、国としても若い国を感じにホーチミン市に来て欲しいです。当会は、在住者はもちろん、旅行者、出張者大歓迎です。一声いただけると幸いです。(文責:ホーチミン栃木県人会事務局 稲葉健人)



▲懇親会の様子

ホーチミン栃木県人会

設立:2017年6月9日

所在地:ホーチミン市

会長:岡部(小山市出身)

事務局:稲葉(那須町出身)

会員数:70名

